

平成 27 年度 施策評価シート

	作成日	H28.11.30
基本姿勢	3	にぎわいを創る「交流のしま」
政 策	2	しまを支え、利便性を高める交通基盤づくり
基本方針	便利で安全な住民生活と円滑な経済活動の確保や地域間相互の連携強化を図るため、幹線道路や生活道路について計画的な整備を図ります。 また、住民の利便性の向上及び島外からの観光客等の交通手段を確保するためにも、関係機関と連携しながらバス路線や航路の充実・確保に努めます。	

基本施策	3-2-①	地域特性に応じた安全で快適な道路整備	
主管課名	建設課	所属長名	本 田 雄 喜 治
関係課名			
1 次評価	基本施策の評価		
	○地域の拠点を結ぶ国道・県道などの幹線道路の整備促進 ■平成27年度の取組概要 地域住民の生活環境向上及び交通安全確保のため、県営事業(改良2路線、3事業)に対し地元負担金を支出し、浜ノ浦道土井線改良事業ほか町道の改良工事等を実施した。(国県道改良率95.6%、町道改良率72.7%) ■評価(問題点とその要因) ・曾根泊崎線新設(H23-H27)全体事業費C=40,251千円 工事長L=80.0m 幅員W=3.0(4.0)mについては、平成27年度に完成した。その他の改良工事についても完成に向けて計画的に進捗が図られている。 ■今後の取組方針 ・多額の事業費が必要とされるが、住民の生活環境の改善・安全・安心の確保のため、引き続き、道路の整備を推進する。		
	○集落と集落を結ぶ集落間道路、公共施設との連絡道路あるいは産業の振興を促進する道路など重要な役割を持つ路線を中心に必要度の高いものから計画的な整備 ■平成27年度の取組概要 ・世界遺産登録に向けた受入整備として町道白浜線改良事業のほか、水産業・観光施設を支援する道路網の整備、災害に強い安全・安心な道路を目指して整備を進めている。 ■評価(問題点とその要因) ・用地の取得等がスムーズな路線を計画的に整備していくとともに、利用率、経済効果等を考慮し事業を計画的に執行した。 ■今後の取組方針 ・引き続き、事業の必要性を見極め、計画的に道路の整備を推進する。		
	○道路の適切な維持管理や交通安全施設の整備、道路の改良・舗装などの安全な道づくり ■平成27年度の取組概要 ・地域住民が日常生活で利用する一般道について、自動車の通行機能、歩行者及び自転車等の交通安全の確保による住民の利便性、生活環境の改善を図った。また、維持管理のため、業務委託及び水路整備、舗装工事、交通安全施設設置等を行い、地域住民の生活環境の向上及び安全対策を図った。(修繕箇所:路面補修49件、側溝補修43件、防護柵設置23件、交通安全施設設置(カーブミラー及びガードパイプ修繕・設置)等19件、土砂取除等29件、街路灯修繕22件) ■評価(問題点とその要因) ・老朽化により、側溝・道路舗装・路側擁壁・法面等の道路施設の劣化が進行しており、早急な対策が必要ではあるが、財源の確保が厳しい中、必要度の高い物から整備を行った。 ■今後の取組方針 ・引き続き、限られた財源を有効に効率的に活用し、安全な道路の維持・整備を進めていく。		

	<p>○歩道のバリアフリー化の推進、歩行者等の安全性確保、高齢者・障がい者・児童などにやさしい道づくり</p> <p>■平成27年度の実施概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の高齢化により転倒事故等が発生しないよう地域の要望等に沿って維持管理を行っている。 また、町通学路安全推進協議会により、通学路点検を行い危険箇所の対策を進めている。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路点検で指摘された場所については、警察・県・学校・町で早急な対応を行っている。 <p>■今後の実施方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、地域住民の生活環境向上及び交通安全確保を目指して整備を進めていく。
	<p>○町民や地域との協働による沿道環境の美化、周辺環境や景観の保全と創造に配慮した道路環境づくり</p> <p>■平成27年度の実施概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛護団体推進活動事業により、愛護団体の自発的な清掃・美化活動へ支援を行い環境美化を進めている。（登録団体93団体、5,277人、延べ活動人数5,811人） <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の高齢化に伴い草刈業務等も増加傾向にある。愛護団体等とも連携しながら環境美化を進めた。 <p>■今後の実施方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会や愛護団体など、構成員の高齢化が今後増加することが見込まれるため、関係課と連携しながら継続して活動できる環境美化づくりに努めていく。
2次評価	<p>国道、県道、町道からなる本町の道路網の整備においては、島内の観光事業や水産基盤の整備にあわせ、地域住民をはじめ、近隣通行者の利便性や交通の円滑化が図られるよう、道路空間の安全性、機能性、必要性など、地域バランスをより一層考慮しながら計画的な整備を実施していくこと。</p>

基本施策	3-2-②	海上交通の充実	
主管課名	総合政策課	所属長名	小柳 哲也
関係課名	建設課		
1次評価	基本施策の評価		
	<p>○航路の利便性の確保による島の活性化（省エネルギー化や高速化、料金の低廉化、サービス改善、ダイヤの改善などを関係機関と協議）</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 離島基幹航路に使用されている船舶の更新（リプレイス）及び長寿命化（リフレッシュ）のための修理点検に要する経費を補助することにより、補助金相当額を運賃低廉化に反映させ、島民の負担軽減及び離島地域の交流人口拡大が図られている。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> 運賃低廉化については、佐世保～上五島航路において実施されていないため、引き続き関係機関と協議していく。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 運賃低廉化については、佐世保～上五島航路において実施されていないため、引き続き関係機関と協議していく。 佐世保～上五島航路について運賃低廉化が図られるよう検討していくとともに、更なる運賃低廉化に向けて、国境離島新法など他の支援制度の活用を検討していく。 		
	<p>○島民や島外からの観光客等の海上交通の確保・充実、物流の効率化、欠航時の連絡体制強化</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 離島基幹航路に使用されている船舶の更新（リプレイス）及び長寿命化（リフレッシュ）のための修理点検に要する経費を補助することにより、補助金相当額を運賃低廉化に反映させ、島民の負担軽減及び離島地域の交流人口拡大が図られている。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> 離島航路は、過疎化の進行に加えて、燃料費、修繕費等運航コストの高騰等により厳しい環境に置かれている。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 航路は、しまの人々にとって重要な交通手段であり唯一の住民の足となっていることから、住民生活に支障がないよう取り組んでいく。 		
	<p>○離島航路の安全・快適・利便性の確保、物流等の効率化のための港湾施設等の整備</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 航路の安全については、事業者に対し安全管理を徹底していくよう国や県やと連携しながら取り組んだ。 港湾整備等の取り組みはなかった。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> 航路の安全については、事業者に対し安全管理を徹底していくよう、今後も国や県やと連携しながら取り組んでいく。 港湾整備等については、相河岸壁について大型クルーズ船が着岸できない。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 航路の安全については、事業者に対し安全管理を徹底していくよう、今後も国や県やと連携しながら取り組んでいく。 港湾整備等については、大型クルーズ船の着岸できるような相河岸壁の整備を要望していく。 		
2次評価	1次評価のとおりとする。本土間交通については、旅客運賃の低廉化について、全航路の適用に向け、引き続き、関係機関と国の支援制度の活用を検討など、協議を行っていくこと。		

基本施策	3-2-③	バス交通の充実	
主管課名	総合政策課	所属長名	小柳 哲也
関係課名			
1次評価	基本施策の評価		
	<p>○「新上五島町交通体系再編計画」の推進</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成25年度に「第2期新上五島町地域公共交通総合連携計画（H26～H29）」を策定し、町営バスの民営化や若松地区から青方間の新規バス路線の導入、地域協働推進事業などに組み込み地域フィーダー系統の特例措置（国補助）を受けている。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「交通政策基本法」や「地域公共交通活性化再生法の改正」が施行され、地域公共交通総合連携計画に代わり、地域にとって望ましい公共交通網を明らかにするマスタープランとして「地域公共交通網形成計画」を法定協議会が定めるものとの変更がなされた。 また、国通知によると、地域フィーダー系統の国庫補助の上限額を段階的削減していく方針を示しており、国庫補助削減の緩和策として地域公共交通網形成計画の策定を求められている。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 本町の交通ネットワーク協議会での協議を行い、「新上五島町地域公共交通網形成計画」の策定等を平成29年度中に行う。（事業主体は、交通ネットワーク協議会） 		
	<p>○運行回数の確保、運行路線の見直しと新路線の開設など現況調査に基づいたバス路線の維持改善</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 年2回、事業者とダイヤ検討会議を開催し、運行回数の確保や路線に見直しなどの協議を実施している。 住民座談会等（3会場10地区）を開催し、公共交通の利用促進を図るとともに、意見交換を実施した。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> 現計画が平成29年度で終了することに伴い、今後の人口減少等を見据えた公共交通のあり方を検討しその方向性を示すとともに、向こう10年間のまちづくり戦略を見越した公共交通ビジョンの再構築を行う必要がある。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 現計画が平成29年度で終了することに伴い、今後の人口減少等を見据えた公共交通のあり方を検討しその方向性を示すとともに、向こう10年間のまちづくり戦略を見越した公共交通ビジョンの再構築を行う。 		
<p>○町民の利便性に配慮した路線バスネットワークの環境づくり</p> <p>■平成27年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通ネットワーク協議会や公共交通会議を開催した。 町内の公共交通路線の空白地域に対し、日常生活に不便をきたすことから、地区等に交通費の助成及び民間への運行委託を行い、地区住民の交通を確保し、日常生活の利便性の向上と住民の足としての維持確保を図った。 高齢者社会への対応策として、町内に住所を有する70歳以上の高齢者を対象に3分の1以内で路線バス事業者へ補助を行った。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> 現計画が平成29年度で終了することに伴い、今後の人口減少等を見据えた公共交通のあり方を検討しその方向性を示すとともに、向こう10年間のまちづくり戦略を見越した公共交通ビジョンの再構築を行う必要がある。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 現計画が平成29年度で終了することに伴い、今後の人口減少等を見据えた公共交通のあり方を検討しその方向性を示すとともに、向こう10年間のまちづくり戦略を見越した公共交通ビジョンの再構築を行う。 			
2次評価	<p>第2期地域公共交通総合連携計画の目標達成に向け、現状の利用実態など、実情に即した計画に適宜見直しを行いながら、安全・安心な地域公共交通のあり方等について、関係機関と連携して取り組んでいくこと。</p>		

成果指標等の達成状況

指標名		基準値	H27	H28	H29	H30	H31
町道の改良率	目標	-	-	-	-	-	73.8%
	実績	71.9%	72.7%	-	-	-	-
	達成率	-	42.1% (100%)	-	-	-	-
町道の舗装率	目標	-	-	-	-	-	78.2%
	実績	77.1%	78.5%	-	-	-	-
	達成率	-	100% (100%)	-	-	-	-
離島航路料金の低廉化	目標	-	-	-	-	-	4航路
	実績	2航路	3航路	-	-	-	-
	達成率	-	50% (100%)	-	-	-	-

施策事業の進捗状況

3-2-① 地域特性に応じた安全で快適な道路整備

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
1	(事業名) 町道浜ノ浦道土井線改良事業 【建設課】 (事業目的) 本路線は国道384号に接する道土井地区と浜ノ浦地区を結ぶ幹線道路であるが、幅員が狭小で急カーブも多く路面の老朽化が著しい状況である。本路線を改良することにより、交通の安全確保及び地域の活性化を図る。 (事業概要) (全体計画) ・改良延長 L=1,200.0m ・幅員 W=5.50(9.25)m ・全体事業費 C=980,000千円	実施年度	平成23年度～平成35年度	
		成果指標	事業進捗率（事業費ベース）	
		目標値	25%	
		実績値	25%	
		達成率	100%	
		決算（見込）額	49,002千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。 当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) 工事長 L=0.0(90.5)m 土工 V=30.0m ³ 補強土壁工 L=52.7m 法面工 A=580.0m ² 仮設工 1式 (成果・課題等) 事業計画どおり進捗している。	(取組実績) (成果・課題等)		
2	(事業名) 町道白浜線改良事業 【建設課】 (事業目的) 本路線は主要地方道上五島空港線から白浜地区へつながる唯一の生活道路であるが、幅員が狭小で、急カーブも多く側溝にも蓋が無いことから、車両（特に大型車）の通行（離合）に苦慮しているところである。 また、白浜地区には、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産登録を控え、「頭ヶ島天主堂」へ多くの巡礼者や観光客が訪れることが見込まれるため、道路改良が必要である。 本路線を改良することにより、交通の安全を確保し、地域の活性化を図る。 (事業概要) (全体計画) ・改良延長 L=988.0m ・幅員 W=5.6m ・全体事業費 C=70,000千円	実施年度	平成26年度～平成28年度	
		成果指標	事業進捗率（事業費ベース）	
		目標値	46%	
		実績値	46%	
		達成率	100%	
		決算（見込）額	28,002千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。 当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) 工事長 L=208.4(208.4)m 排水工 L=194.0m 防護柵設置工 L=157.0m 路側工 L=124.6m 舗装工 A=1,050.0m ² (成果・課題等) 事業計画どおり進捗している。	(取組実績) (成果・課題等)		

3-2-① 地域特性に応じた安全で快適な道路整備（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
3	<p>(事業名) 町道冷水部落内線新設事業</p> <p>【建設課】</p> <p>(事業目的) 本路線は冷水集落と林道熊高線を結ぶ道路で、周辺住民は高齢者が多く、日常生活に於いて不便を強いられている。道路を新設し、緊急・福祉・衛生車輛等の乗入を可能にすることにより、住民の生活環境の改善と福祉の向上を図る。</p> <p>(事業概要) (全体計画) ・新設延長 L=220.0m ・幅員 W=4.00(5.00)m ・全体事業費 C=200,000千円</p>	実施年度	平成20年度～平成28年度	
		成果指標	事業進捗率（事業費ベース）	
		目標値	88%	
		実績値	88%	
		達成率	100%	
		決算（見込）額	9,955千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>工事長 L=0.0(49.9)m 土工 V=290.0m³ 補強土壁工 L=51.0m</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>事業計画どおり進捗している。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		
4	<p>(事業名) 町道中ノ浦1・2号線改良事業</p> <p>【建設課】</p> <p>(事業目的) 本路線は国道384号中ノ浦地区と(主)有川奈良尾線浜串地区を結ぶ基幹道路であるが、幅員が狭小で急カーブも多く路面の老朽化が著しい状況である。本路線を改良することにより、医療機構再編に伴う交通の安全確保及び地域の活性化を図る。</p> <p>(事業概要) (全体計画) ・改良延長 L=857.0m ・幅員 W=4.00(5.00)m ・全体事業費 C=220,000千円</p>	実施年度	平成23年度～平成31年度	
		成果指標	事業進捗率（事業費ベース）	
		目標値	43%	
		実績値	43%	
		達成率	100%	
		決算（見込）額	28,000千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>工事長 L=100(126.4)m 土工 V=190m³ 擁壁工 L=62.9m 舗装工 A=469.0m²</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>事業計画どおり進捗している。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		

3-2-① 地域特性に応じた安全で快適な道路整備（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
5	<p>(事業名) 町道川向小河原線新設事業</p> <p>【建設課】</p> <p>(事業目的) 本路線は青砂（内方）地区内の道路で、現在、利用している生活道路は水路護岸や里道で老朽化が著しく幅員が狭いため、緊急・福祉・衛生車輛等の乗入が困難な状況である。道路を新設することにより、住民の生活環境の改善と福祉の向上を図る。</p> <p>(事業概要) (全体計画) ・新設延長 L=176.0m ・幅員 W=3.00(4.00)m ・全体事業費 C=60,000千円</p>	実施年度	平成23年度～平成30年度	
		成果指標	事業進捗率（事業費ベース）	
		目標値	71%	
		実績値	71%	
		達成率	100%	
		決算（見込）額	9,999千円	
		当該年度執行率	100%	
成果指標及び目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。			
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>工事長 L=18.8(68.6)m 床版工 1式 擁壁工 L=49.1m 排水工 L=58.0m 舗装工 A=53.0m³</p> <p>(成果・課題等) 事業計画どおり進捗している。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		
6	<p>(事業名) 町道曾根泊崎線新設事業</p> <p>【建設課】</p> <p>(事業目的) 本路線は曾根峠番岳線と曾根港湾臨港道路を結ぶ道路である。町道の幅員が狭く私有地を利用して離合しているが、衛生車輛等の作業の際には遠回りをして迂回している。道路を新設することにより、道路の迂回路として地域住民の利便性の向上を図る。</p> <p>(事業概要) (全体計画) ・新設延長 L=80.0m ・幅員 W=3.00(4.00)m ・全体事業費 C=40,252千円</p>	実施年度	平成23年度～平成27年度	
		成果指標	事業進捗率（事業費ベース）	
		目標値	100%	
		実績値	100%	
		達成率	100%	
		決算（見込）額	14,773千円	
		当該年度執行率	100%	
成果指標及び目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。			
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>工事長 L=80.0(80.0)m 土工 V=310.0m³ 擁壁工 A=92.0m² 排水工 L=144.4m 防護柵設置工 L=16.6m 舗装工 A=428.0m²</p> <p>(成果・課題等) 事業計画どおり実施し、事業は完成した。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		

3-2-① 地域特性に応じた安全で快適な道路整備（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
7	(事業名) 町道神ノ浦佐野原線改良事業 【建設課】 (事業目的) 本路線は、東神ノ浦地区、浜串地区と佐野原、三日ノ浦を経て国道384号を結ぶ基幹道路であるが、幅員が狭小で急カーブも多く路面の老朽化が著しい状況である。本路線を改良することにより、医療機構再編に伴う交通の安全確保及び地域の活性化を図る。 (事業概要) (全体計画) ・改良延長 L=2,056.0m ・幅員 W=4.00(5.00)m ・全体事業費 C=524,000千円	実施年度	平成21年度～平成33年度	
		成果指標	事業進捗率（事業費ベース）	
		目標値	40%	
		実績値	40%	
		達成率	100%	
		決算（見込）額	25,000千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。 当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) 工事長 L=0(265)m 法覆工 A=462.0㎡ 排水工 L=407.0m 擁壁工 L=60.0m 交通安全施設工 L=48.0m (成果・課題等) 事業計画どおり進捗している。	(取組実績) (成果・課題等)		
8	(事業名) 町道浜ノ浦飯ノ瀬戸線改良事業 【建設課】 (事業目的) 本路線は、浜ノ浦地区と飯ノ瀬戸地区を結ぶ基幹道路であるが、幅員が狭小で急カーブも多く路面の老朽化が著しい状況である。本路線を改良することにより、交通の安全確保及び地域の活性化を図る。 (事業概要) (全体計画) ・改良延長 L=536.0m ・幅員 W=5.50(7.00)m ・全体事業費 C=540,000千円	実施年度	平成21年度～平成34年度	
		成果指標	事業進捗率（事業費ベース）	
		目標値	32%	
		実績値	32%	
		達成率	100%	
		決算（見込）額	28,900千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。 当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) 工事長 L=0.0(72.0)m 土工 V=3,000m ³ 法覆工 A=360.0㎡ (成果・課題等) 事業計画どおり進捗している。	(取組実績) (成果・課題等)		

3-2-① 地域特性に応じた安全で快適な道路整備（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
9	<p>(事業名) 町道今里部落内1号線改良事業</p> <p>【建設課】</p> <p>(事業目的) 本路線は今里地区の道路であるが、幅員が狭く路面の老朽化が著しい状況である。道路を改良し、緊急・福祉・衛生車輛等の乗入を可能にすることにより、住民の生活環境の改善と福祉の向上を図る。</p> <p>(事業概要) (全体計画) ・改良延長 L=250.0m ・幅員 W=3.00(4.00)m ・全体事業費 C=70,000千円</p>	実施年度	平成25年度～平成31年度	
		成果指標	事業進捗率（事業費ベース）	
		目標値	49%	
		実績値	49%	
		達成率	100%	
		決算（見込）額	10,000千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>工事長 L=55.2(65.2)m 擁壁工 L=58.2m 排水工 L=64.0m 舗装工 A=248㎡</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>事業の途中であるが、計画どおり事業は進捗されている。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		
10	<p>(事業名) 町道小浜部落内2号線新設事業</p> <p>【建設課】</p> <p>(事業目的) 本路線は、小浜地区内の道路である。現在利用している生活道路は、水路護岸や里道で老朽化が著しく幅員が狭いため、緊急・福祉・衛生車輛の乗入が困難な状況である。道路を新設することにより、住民の生活環境と福祉の向上を図る。</p> <p>(事業概要) (全体計画) ・新設延長 L=255.0m ・幅員 W=4.00(5.00)m ・全体事業費 C=120,000千円</p>	実施年度	平成25年度～平成31年度	
		成果指標	事業進捗率（事業費ベース）	
		目標値	75%	
		実績値	75%	
		達成率	100%	
		決算（見込）額	9,998千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>工事長 L=0.0(29.1)m 土工 V=500.0m³ 擁壁工 L=28.2m 排水工 L=20.0m 防護柵設置工 L=33.3m</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>事業計画どおり進捗している。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		

3-2-② 海上交通の充実

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度	
1	<p>(事業名) 五島沿岸航路整備補助事業 【総合政策課】</p> <p>(事業目的) ○本事業は、本町と五島市のみを結ぶ航路の円滑な運航を維持することを目的としている。</p> <p>(事業概要) ○前年度の9月末日とする1年間における確定欠損額(国及び県補助を控除した額)の2分の1以内を運行事業者に対し補助するもの。(五島市と折半) ○五島沿岸航路整備補助金交付要綱 ○本補助金の財源として、五島沿岸航路整備基金を充当している。</p>	実施年度	平成17年度～		
		成果指標	①離島航路料金の低廉化(総合計画成果指標) ②航路利用者数(年間)(総合戦略KPI)		
		目標値	① 4航路 ② 423,000人		
		実績値	① 3航路 ② 435,758人		
		達成率	① 75.0% ② 103.0%		
		決算(見込)額	1,968千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	○航路運賃の低廉化については、佐世保～上五島航路において低廉化が図られていないため他の3航路と同様に低廉化を目指す。 ○航路利用者数の目標値は、運賃の低廉化や観光客数の増加を見込み設定。(H25実績408,000人から3.5%増)		
		取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>○H27年度の補助実績 ・H25.10.1～H26.9.30の運行分 ・補助額 1,968,352円 ・うち、運営費分 1,961,962円 ・うち、運賃割引分 6,390円 ・収益 176,449,023円 ・費用 361,691,996円 ・欠損額 185,242,973円 ・国費 155,641,197円 ・県補助 25,677,851円 ・差引欠損額 3,923,925円の1/2補助</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>【成果】 ○円滑な運航が維持確保されている。</p> <p>【課題】 ○フェリーオーシャンの老朽化に伴う新造船の建設の検討</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>	

3-2-② 海上交通の充実（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度	
2	<p>(事業名) 離島輸送コスト支援補助事業（魚介類） 【水産課】</p> <p>(事業目的) 離島の輸送コストは、特に農林水産業をはじめとした地場産業の競争力を低下させる要因となっており、こうした不利条件の解消、緩和に向けて、輸送コストへの直接支援を行い、島の特産品等に出来るだけ運搬コストがかからない商品価格で、本土に移出できるようにする。そうすることにより、島の生産者の販売意欲を駆り立て、ひいては島の活性化に繋げていくことを目的とする。</p> <p>(事業概要) ・離島の輸送コストは、特に農林水産業をはじめとした地場産業の競争力を低下させる要因となっており、こうした不利条件の解消、緩和に向けて、輸送コストへの直接支援を行う。 ・本土への地元産品（指定された対象品目に限る）の出荷に使う船（上五島から本土への移出のための航路）などの輸送経費の2/3を上限に補助する輸送コストへの支援を行う。</p>	実施年度	平成25年度～		
		成果指標	新規就業者数（累計）		
		目標値	40人		
		実績値	10人		
		達成率	25%		
		決算（見込）額	189,773千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、新規就業者数を5年間で350人にすることとしており、うち水産業の目標数を40人としている。		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績)	魚介類（鮮魚、冷凍）の移出、養殖資料の移入を行う事業者に対し輸送費の補助を行った。 16事業所 189,773千円	(取組実績)
			(成果・課題等)	コストの軽減により、新規就業者10人を確保することができた。	(成果・課題等)
3	<p>(事業名) 離島輸送コスト支援補助事業（五島手延うどん） 【観光商工課】</p> <p>(事業目的) 離島の輸送コストは、特に農林水産業をはじめとした地場産業の競争力を低下させる要因となっており、こうした不利条件の解消、緩和に向けて、輸送コストへの直接支援を行い、島の特産品等に出来るだけ運搬コストがかからない商品価格で、本土に移出できるようにする。そうすることにより、島の生産者の販売意欲を駆り立て、ひいては島の活性化に繋げていくことを目的とする。</p> <p>(事業概要) ・離島の輸送コストは、特に農林水産業をはじめとした地場産業の競争力を低下させる要因となっており、こうした不利条件の解消、緩和に向けて、輸送コストへの直接支援を行う。 ・本土への地元産品（指定された対象品目に限る）の出荷に使う船（上五島から本土への移出のための航路）などの輸送経費の2/3を上限に補助する輸送コストへの支援を行う。</p>	実施年度	平成25年度～		
		成果指標	新規就業者数（累計）		
		目標値	20人		
		実績値	1人		
		達成率	5%		
		決算（見込）額	518千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	総合戦略において、新規就業者数を5年間で350人にすることとしており、うち製造業の目標数を20人としている。		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績)	うどんを対象品目として移出を行う事業者に対し輸送費の補助を行った。 2事業所 518千円	(取組実績)
			(成果・課題等)	コストの軽減により、新規就業者1人の確保ができた。離島産品の売上高の増大を目指すため、引き続き支援を行っている。	(成果・課題等)

3-2-③ バス交通の充実

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度	
1	<p>(事業名)</p> <p>地域公共交通活性化・再生総合事業</p> <p>【総合政策課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>○交通ネットワーク促進協議会は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第6条第1項の規定に基づき地域公共交通総合連携計画の作成に関する協議及び連携計画の実施に係る連携調整を行うために設置するものであり地域公共交通の活性化及び再生を図ることを目的とする。</p> <p>(事業概要)</p> <p>○地域公共交通総合連携計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1期：H23年度～H25年度（3カ年） ・第2期：H26年度～H29年度（4カ年） <p>○交通ネットワーク協議会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H27.5.25とH27.12.22の年2回開催 ・地域公共交通協働推進事業 ・地域フィーダー系統確保維持事業 	実施年度	平成17年度～		
		成果指標	バス利用者数（年間）		
		目標値	460,000人		
		実績値	429,264人		
		達成率	93.3%		
		決算（見込）額	4,019千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	○バス利用者数は、人口減少等や自家用車普及の状況の中、平成25年度（基準年度）の利用者数を維持していくことで総合戦略KPIで設定している。		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績)	(取組実績)	(取組実績)
			(成果・課題等)	(成果・課題等)	(成果・課題等)

3-2-③ バス交通の充実（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度	
2	<p>(事業名)</p> <p>佐尾地区交通補助事業</p> <p>【総合政策課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>○本事業は、町内の公共交通路線の空白地域に対し、日常生活に不便をきたすことから、地区等に交通費の助成を行い、地区住民の交通を確保し、日常生活の利便性の向上と住民の足としての維持確保を図ることを目的としている。</p> <p>(事業概要)</p> <p>○佐尾地区（ジャンボタクシー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H27利用者数 669人、 ・補助額 2,490千円、 ・運行便数 391便 ・地区負担 大人 1回300円 小人 1回100円 計 209,700円 	実施年度	平成17年度～		
		成果指標	バス利用者数（年間）		
		目標値	460,000人		
		実績値	429,264人		
		達成率	93.3%		
		決算（見込）額	2,490千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	○バス利用者数は、人口減少等や自家用車普及の状況の中、平成25年度（基準年度）の利用者数を維持していくことで総合戦略KPIで設定している。		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績)	(取組実績)	
			(成果・課題等)	(成果・課題等)	
3	<p>(事業名)</p> <p>石司地区交通補助事業</p> <p>【総合政策課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>○本事業は、町内の公共交通路線の空白地域に対し、日常生活に不便をきたすことから、地区等に交通費の助成を行い、地区住民の交通を確保し、日常生活の利便性の向上と住民の足としての維持確保を図ることを目的としている。</p> <p>(事業概要)</p> <p>○石司地区（小型タクシー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H27利用者数 224人、 ・補助額 420千円、 ・運行便数 116便 ・地区負担 年間20千円 	実施年度	平成17年度～		
		成果指標	バス利用者数（年間）		
		目標値	460,000人		
		実績値	429,264人		
		達成率	93.3%		
		決算（見込）額	420千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	○バス利用者数は、人口減少等や自家用車普及の状況の中、平成25年度（基準年度）の利用者数を維持していくことで総合戦略KPIで設定している。		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績)	(取組実績)	
			(成果・課題等)	(成果・課題等)	

3-2-③ バス交通の充実（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度	
4	<p>(事業名) 須崎地区交通補助事業</p> <p>【総合政策課】</p> <p>(事業目的) ○本事業は、町内の公共交通路線の空白地域に対し、日常生活に不便をきたすことから、地区等に交通費の助成を行い、地区住民の交通を確保し、日常生活の利便性の向上と住民の足としての維持確保を図ることを目的としている。</p> <p>(事業概要) ○須崎地区（ジャンボタクシー） ・H27利用者数 19人、 ・補助額 1,011千円、 ・運行便数 13便 ・地区負担 1回500円（9,500円）</p>	実施年度	平成17年度～		
		成果指標	バス利用者数（年間）		
		目標値	460,000人		
		実績値	429,264人		
		達成率	93.3%		
		決算（見込）額	1,011千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	○バス利用者数は、人口減少等や自家用車普及の状況の中、平成25年度（基準年度）の利用者数を維持していくことで総合戦略KPIで設定している。		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績)	(取組実績)	
			<p>○H27利用者数 19人、 ○補助額 1,011千円、 ○運行便数 13便</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>【成果】 ○本事業により公共交通の空白をなくし、住民の不安解消や負担軽減が図られている。</p> <p>【課題】 ○日常生活の交通手段の維持確保として必要不可欠であり、事業効果を求めるべきではないが、町の財政負担や将来的な運行のあり方を検討していく必要がある。</p>	<p>(成果・課題等)</p>	
5	<p>(事業名) 車両運行委託事業</p> <p>【総合政策課】</p> <p>(事業目的) ○本事業は、町内の公共交通路線の空白地域に対し、日常生活に不便をきたすことから、民間への運行委託を行い、地区住民の交通を確保し日常生活の利便性の向上と住民の足としての維持確保を図ることを目的としている。</p> <p>(事業概要) ○宿ノ浦若松、大平若松の2地域間において、デマンドタクシーの運行を委託</p>	実施年度	平成17年度～		
		成果指標	バス利用者数（年間）		
		目標値	460,000人		
		実績値	429,264人		
		達成率	93.3%		
		決算（見込）額	11,607千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	○バス利用者数は、人口減少等や自家用車普及の状況の中、平成25年度（基準年度）の利用者数を維持していくことで総合戦略KPIで設定している。		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績)	(取組実績)	
			<p>○宿ノ浦若松間（ジャンボタクシー） ・H27利用者数 3,795人、 ・委託費 6,038千円、 ・運行便数 964便 ○大平若松間（ジャンボタクシー） ・H27利用者数 1,436人、 ・委託費 5,569千円、 ・運行便数 941便</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>・本事業により公共交通の空白をなくし、住民の不安解消や負担軽減が図られている。 ・日常生活の交通手段の維持確保として必要不可欠であり、事業効果を求めるべきではないが、町の財政負担や将来的な運行のあり方を検討していく必要がある。</p>	<p>(成果・課題等)</p>	

3-2-③ バス交通の充実（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度	
6	<p>(事業名) 高齢者割引バス補助事業</p> <p>【総合政策課】</p> <p>(事業目的) ○本事業は、高齢者社会への対応策として、住み慣れた地域で安心安全な暮らしの実現のため公共交通機関の一層の移動の円滑化の促進と地域活性化を図ることを目的としている。</p> <p>(事業概要) ○町内を運行する路線バスにおいて、町内に住所を有する70歳以上の高齢者を対象に3分の1以内で路線バス事業者へ補助するもの。 ・1年有効分： 通常価格 30,900円、 町補助 10,300円、 利用者負担 20,600円 ・4月有効分： 通常価格 15,300円、 町補助 5,100円、 利用者負担 10,200円 ○新上五島町路線バス「高齢者割引バス」助成事業補助金交付要綱</p>	実施年度	平成17年度～		
		成果指標	バス利用者数（年間）		
		目標値	460,000人		
		実績値	429,264人		
		達成率	93.3%		
		決算（見込）額	3,329千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	○バス利用者数は、人口減少等や自家用車普及の状況の中、平成25年度（基準年度）の利用者数を維持していくことで総合戦略KPIで設定している。		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績)	(取組実績)	
			(成果・課題等)	(成果・課題等)	

3-2-③ バス交通の充実（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度	
7	<p>(事業名)</p> <p>バス路線維持費補助事業</p> <p>【総合政策課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>○バス路線の維持確保を図ることにより、地域住民の日常生活における利便性を向上するため。</p> <p>(事業概要)</p> <p>○有川港ターミナル～奈良尾車庫前（国補助路線）、青方～奈良尾車庫前（県補助路線）に対する補助金で、補助額は、実績欠損額から国及び県の補助額を控除した残りの額を限度として補助するものである。</p> <p>○新上五島町バス路線維持費補助金交付要綱</p>	実施年度	平成17年度～		
		成果指標	バス利用者数（年間）		
		目標値	460,000人		
		実績値	429,264人		
		達成率	93.3%		
		決算（見込）額	13,430千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	○バス利用者数は、人口減少等や自家用車普及の状況の中、平成25年度（基準年度）の利用者数を維持していくことで総合戦略KPIで設定している。		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績)	(取組実績)	(取組実績)
			(成果・課題等)	(成果・課題等)	(成果・課題等)